モバカルネット機能追加（2021 年 8 月）

2021 年 8 月 11 日

機能追加

1．　カルテ入力で文字色変更とアンダーラインをできるようにしました。
2．　ホーム画面の右上から多職種連携先を検索する機能を追加しました。
3．　患者情報画面の右上黄色ボックスに編集する機能を追加しました。
4．　行為コードにインポートとエクスポートの機能を追加しました。
5．　在宅予定の患者登録の際にメモ入力する機能を追加しました。
6．　在宅予定を月単位でコピーする際に訪問タイプを指定できるようにしました。
7．　処方入力時に見出しを変更しても薬剤名が消えないようにしました。
8．　処方箋の一括出力時に同日のカルテが複数ある場合はすべて出力するようにしました。
9．　医事文書定型文や看護定型文にカテゴリを追加しました。
10．診療タイプ管理の設定項目に表示順を追加しました。
11．タグ管理の設定項目に表示順を追加しました。
12．訪問予定表の表示項目にタグも選択できるようにしました。
13．物品管理で商品コードを追加し商品コードでソートできるようにしました。
14．カルテ入力支援の「褥瘡の分類」を DESIGN-R2020 に対応しました。
15．物品管理にインポート機能を追加しました。
16．カルテの所見欄に身長の入力項目・グラフを追加しました。

文書関連

1．「訪問看護指示書」に留意事項の追記とたん吸引の項目追加をしました。
2．「在宅医療計画書」及び「在宅医療計画書（痴呆なし）」の選択項目に A1、A2、Ⅱa、Ⅱb を追加しました。
3．「リハビリテーション会議録」の所属（職種）の入力文字数を増やしました。
4．「診療レポート（様式 3)」の入力が多かった場合に複数ページで出力するようにしました。
5．「健康診断個人票（雇入時)」の誤記等を修正し、エックス線検査の所見入力を追加しました。
6．「訪問看護報告書」の誤字を修正しました。
7．令和 3 年度版の「リハビリテーション計画書」を追加しました。
8．「主治医意見書」の「医学的観点からの留意事項」の「その他」の「特になし」「あり」が編集できない不具合を修正しました。

NTT Electronics Techno Corp. Confidential

軽微な修正

1. カルテ表示で「予防接種」の背景色を変更しました。
2. カルテの編集を完了した後は編集したカルテを表示するようにしました。
3. カルテ入力画面で保険病名を一時的に非表示にできるようにしました。
4. 「▲トップへ戻る」をクリックした際にヘッダーが必ず表示されるように修正しました。
5. 行為入力の「選択コメント」で表示される項目に診察区分を追加しました。
6. 準備カルテで処方日数を指定できるようにしました。
7. 全銀協フォーマット出力の画面で件数と合計金額の表示を追加しました。
8. リハビリ記録の測定値入力を看護記録のように入力できるようにしました。
9. 在宅と外来のモードを切り替えて使用しても居宅療養指導内容とご家族連絡事項が共有されるようにしました。
10. 患者基本情報の生年月日に西暦を併記するようにしました。
11. 職種別文書の配列も 50 音順にしました。
12. 待機患者登録の生年月日入力で昭和 1 年を大正 15 年に変更しました。
13. 患者情報の詳細検索で、入院中の期間指定を CSV 出力にも反映しました。
14. 6-2.院外処方用法編集を利用したときの操作履歴の内容を修正しました。
15. FD 版のオーダリングで 50 個目以降の項目が登録できない事象を修正しました。
16. サマリの編集履歴画面の左上に患者 ID が表示されるようになりました。

日レセクラウド連携

1. モバカル ORCA で会計済カルテを修正する手順を改善しました。
   ★日レセ ORCA と連携している医療機関様は必ずご確認ください。
2. 給管鳥連携の一括にチェックしたときにチェックの入る定期訪問を最初の 2 つだけに修正しました。
3. 給管鳥連携の 50 番目以降のカルテで給管帳クラウドの実績が正しくグレー表示されない事象を修正しました。

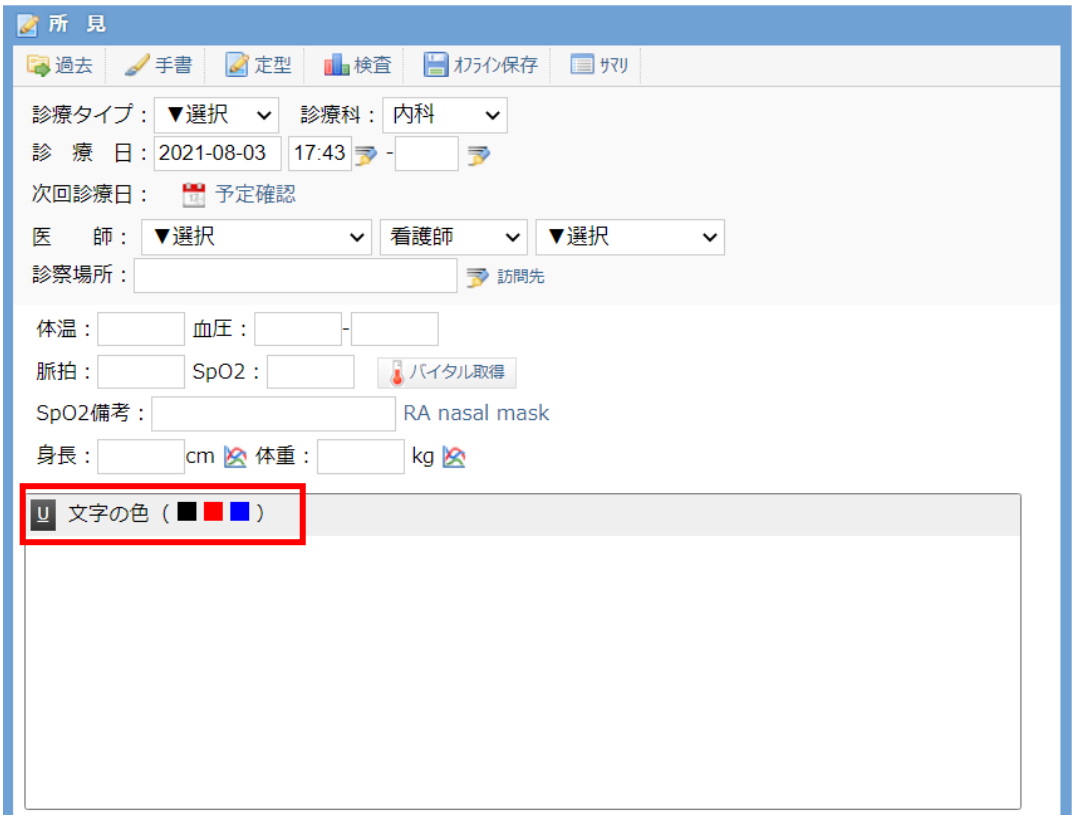
モバカルコミュニティ

1. 複数のキーワードで検索できるようにし、検索結果画面でキーワードをハイライト表示するようにました。
2. ログイン後のユーザ名表示の不具合を修正しました。
3. 添付ファイルのサイズを約 10MB までに増やしました。

1.カルテ入力で文字色変更とアンダーラインをできるようにしました。

カルテの所見欄の文字色変更や、下線を引くことができるようになりました。

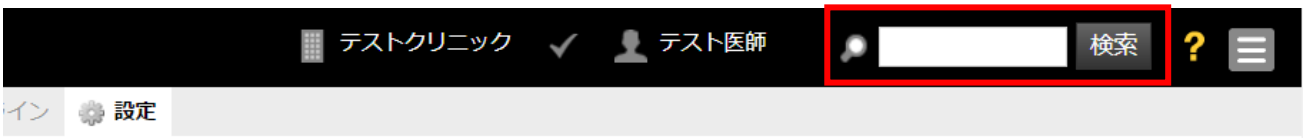
※PC・iPad（PC 版画面）・スマホ端末（PC 版画面）でご利用いただけます。
※過去 Do には、下線・文字色の設定内容は引き継がれません。
※２号用紙や、医事文書作成時に所見内容を引用する際も設定内容は引き継がれません。



U	任意の文字をドラッグした後に、このボタンを押すと下線を引くことができます。 下線を解除したい場合は、文字をドラッグし再度このボタンを押してください。
文字の色（ ）	任意の文字をドラッグした後に、このボタンを押すと文字色を黒・赤・青の３色に変更できます。 文字色を解除したい場合は、文字をドラッグし黒色のボタンを押してください。

2.ホーム画面の右上から多職種連携先を検索する機能を追加しました。

施設名称を入力し検索すると、「設定」＞「3-2.多職種連携」に登録した内容を確認できます。
※複数候補がある場合、「患者情報」＞「詳細検索」に一覧が表示されます。多職種連携先は氏名の横に建物のアイコンが表示されます。



3.患者情報画面の右上黄色ボックスに編集する機能を追加しました。

編集アイコンをクリックすると、患者サマリから編集を行わなくても重要メモの内容が修正できるようになりました。
※重要メモ以外（アラート付きのメモなど）の内容は編集できません。

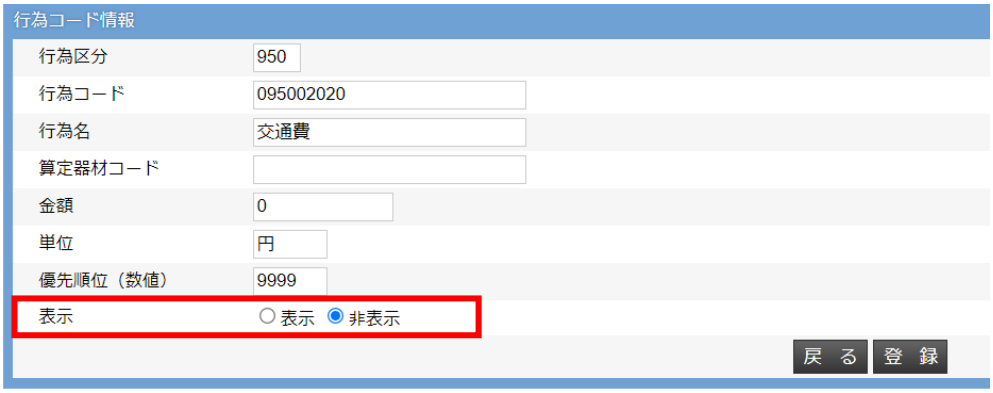
4.行為コードにインポートとエクスポートの機能を追加しました。

提携先クリニック等で同じ行為コードを使用する場合に、登録のお手間を省くことが出来る機能です。

【エクスポート】
「設定」＞「5-1.行為コード」でチェックを付けた項目を.data データで出力します。

【インポート】
data データを取り込むボタンです。「インポート」をクリックし、出力した.data ファイルを選択してください。 読み込ませた項目は行為コード一覧の一番下に追加されます。（優先順位を設定していた場合は同じ優先順位の項目の一番下に表示されます）

※誤ってインポートしてしまった行為コードは、削除できませんので非表示に変更してください。
（カルテで１度も使用していなければ、次回登録時に上書きしていただく事も可能です。）

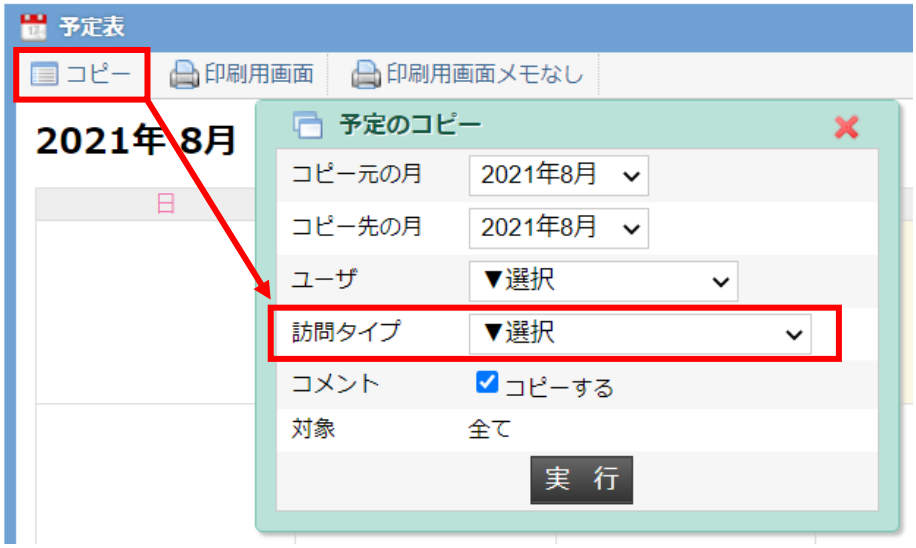


5.在宅予定の患者登録の際にメモ入力する機能を追加しました。

「在宅予定」＞「一覧表示」で医師名横の□＞患者登録から予定を追加する際、登録画面上からも予定メモを入れる事ができるようになりました。

6.在宅予定を月単位でコピーする際に訪問タイプを指定できるようにしました。

「在宅予定」＞「月表示」から予定をコピーする際に、コピー対象となる訪問タイプを指定できます。



7.処方入力時に見出しを変更しても薬剤名が消えないようにしました。

処方追加のポップアップ内で処方内容をセットする際、薬剤名を追加した後に見出しを変更しても薬剤名がリセットされないようになりました。

8. 処方箋の一括出力時に同日のカルテが複数ある場合はすべて出力するようにしました。

9.医事文書定型文や看護定型文にカテゴリを追加しました。

「設定」＞「7-6.医事文書定型文カテゴリ」「7-7.看護定型文カテゴリ」でカテゴリを作成できます。入力内容は下記をご参照ください。

定型文カテゴリ名	「7-2.医事文書定型文」「7-3.看護定型文」などの設定画面で表示される名称です。
定型文カテゴリ省略名	患者画面の医事文書、看護記録で定型文を呼び出した時に表示されるカテゴリ名です。
優先度（数値）	カテゴリの表示順です。大きい数字ほど上、もしくは左に表示されます。
表示・非表示	保存したカテゴリを再編集する際にだけこの項目が表示されます。使わなくなったカテゴリは非表示に変更してください。

作成したカテゴリは、「設定」＞「7-2.医事文書定型文」「7-3.看護定型文」でそれぞれ設定してください。

10.診療タイプ管理の設定項目に表示順を追加しました。

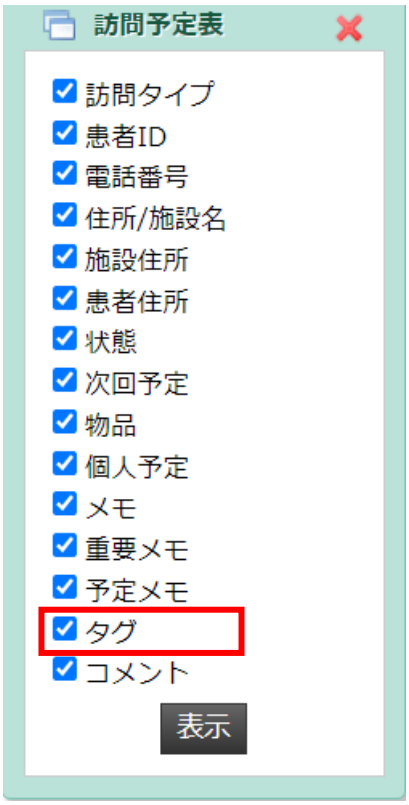
「設定」＞「1-6.診療タイプ管理」から設定ができます。大きい数字ほど上に表示されます。

11.タグ管理の設定項目に表示順を追加しました。

「設定」＞「3-3.タグ管理」からタグの表示順を変更できるようになりました。

12.訪問予定表の表示項目にタグも選択できるようにしました。

「在宅予定」＞「一覧表示」から出力する訪問予定表に、タグの内容も表示されるようになりました。出力の際に、「タグ」の項目にチェックを付けてください。



13.物品管理で商品コードを追加し商品コードでソートできるようにしました。

「設定」＞「8-1.物品管理」で商品コードを入力する欄が追加されました。
（設定は任意です）

14.カルテ入力支援の「褥瘡の分類」を DESIGN-R2020 に対応しました。

カルテ入力画面の入力支援にある「褥瘡の分類」の内容が最新のものに更新されました。

15.物品管理にインポート機能を追加しました。

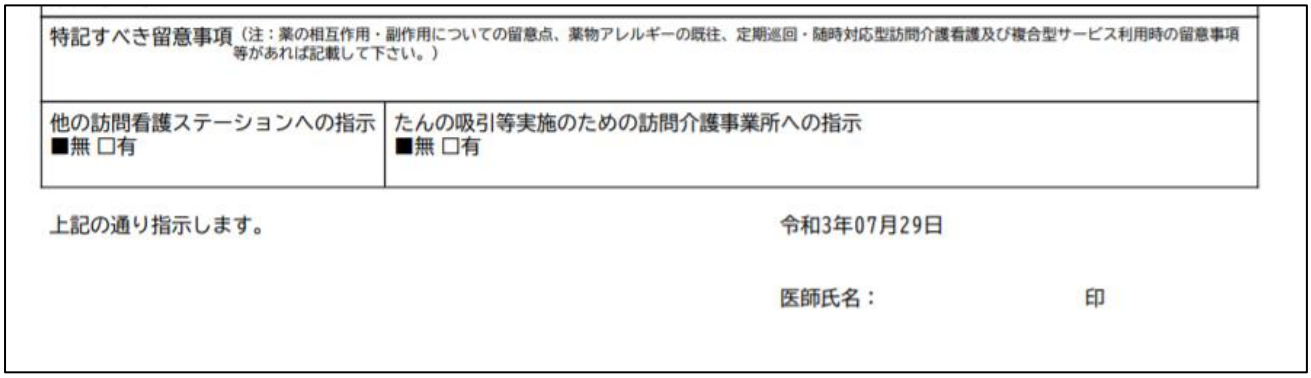
16.カルテの所見欄に身長の入力項目・グラフを追加しました。

文書関連

1.「訪問看護指示書」に留意事項の追記とたん吸引の項目追加をしました。

（↓文書作成画面）

（↓文書 PDF）



特記すべき留意事項（注：薬の相互作用・副作用についての留意点、薬物アレルギーの既往、定期巡回・随時対応型訪問介護看護及び複合型サービス利用時の留意事項等があれば記載して下さい。）	
他の訪問看護ステーションへの指示 ■無 □有	たんの吸引等実施のための訪問介護事業所への指示 ■無 □有

上記の通り指示します。　　令和3年07月29日

医師氏名：　　印

2.「在宅医療計画書」及び「在宅医療計画書（痴呆なし）」の選択項目に A1、A2、Ⅱa、Ⅱb を追加しました。

寝たきり度に「A1」「A2」を、認知症老人の生活自立度に「Ⅱa」「Ⅱb」の項目を追加しました。

3.「リハビリテーション会議録」の所属（職種）の入力文字数を増やしました。

各欄に 20 文字まで入力できるようになりました。

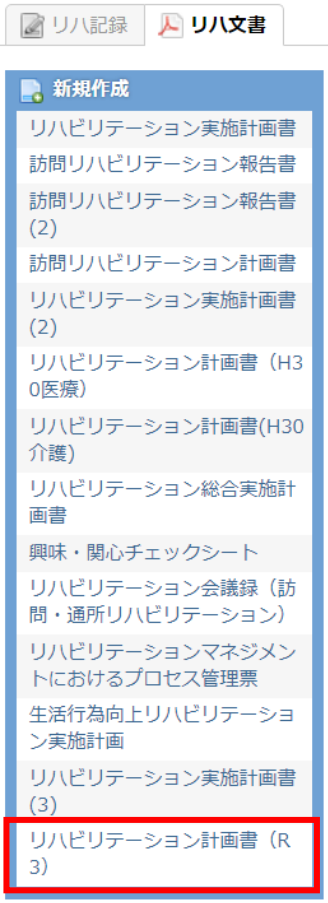
4.「診療レポート（様式 3)」の入力が多かった場合に複数ページで出力するようにしました。

5.「健康診断個人票（雇入時)」の誤記等を修正し、エックス線検査の所見入力を追加しました。

6.「訪問看護報告書」の誤字を修正しました。

7.令和 3 年度版の「リハビリテーション計画書」を追加しました。

「リハビリテーション計画書（R3)」という文書名で追加されました。



8.「主治医意見書」の「医学的観点からの留意事項」の「その他」の「特になし」「あり」が編集できない不具合を修正しました。

一度保存した主治医意見書に内容編集で入ると、「医学的観点からの留意事項」の「その他」のチェックボックスが表示されない不具合を修正しました。

軽微な修正

1.カルテ表示で「予防接種」の背景色を変更しました。

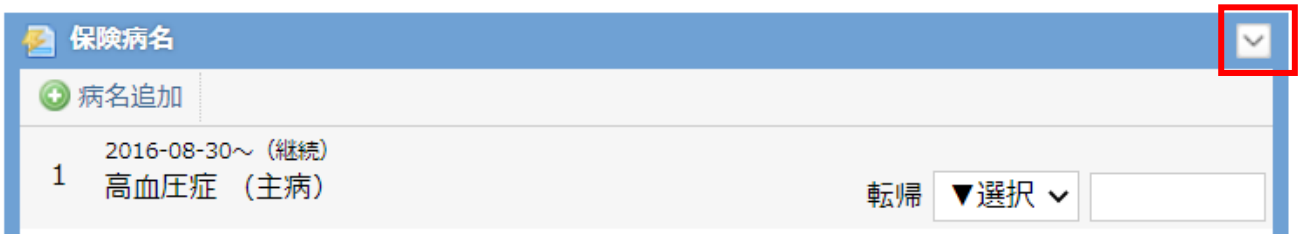
カルテの診療タイプを「予防接種」にした際の表示色を紫に変更しました。

2.カルテの編集を完了した後は編集したカルテを表示するようにしました。

編集完了でカルテを保存し過去カルテ画面に戻った際、そのカルテが表示されるようになりました。

3.カルテ入力画面で保険病名を一時的に非表示にできるようにしました。

保険病名の右上にある「V」ボタンをクリックすると、保険病名を非表示にできます。

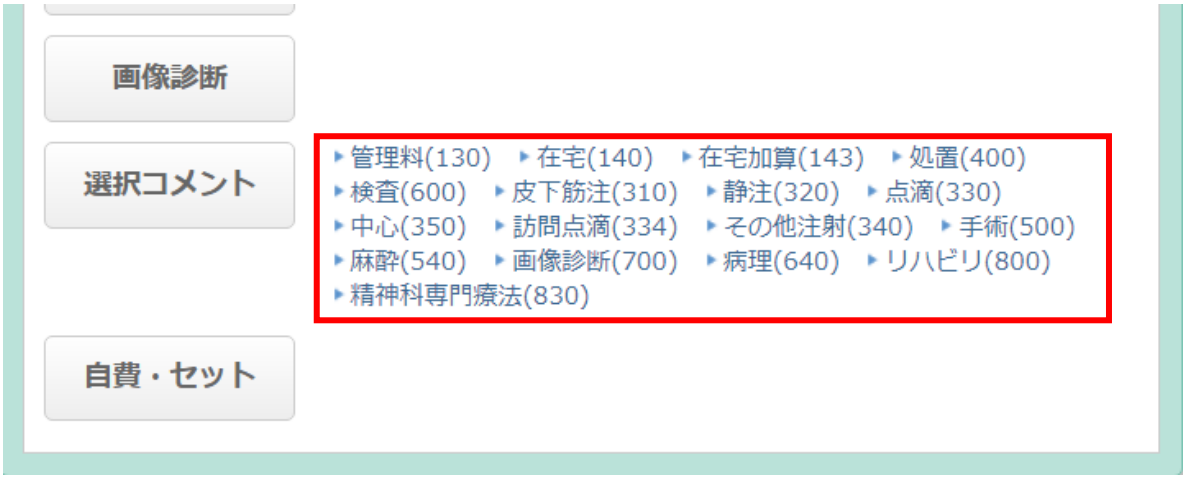


4.「▲トップへ戻る」をクリックした際にヘッダーが必ず表示されるように修正しました。

過去カルテ画面で「▲トップへ戻る」をクリックした際の動きを修正しました。

5.行為入力の「選択コメント」で表示される項目に診察区分を追加しました。

算定と同じ診区でコメントを入れることにより、算定の直下にコメントが入るようになります。
「選択コメント」の四角いボタンからコメントを検索した場合は、診区が 991 になり摘要欄の一番下にコメントが入ります。



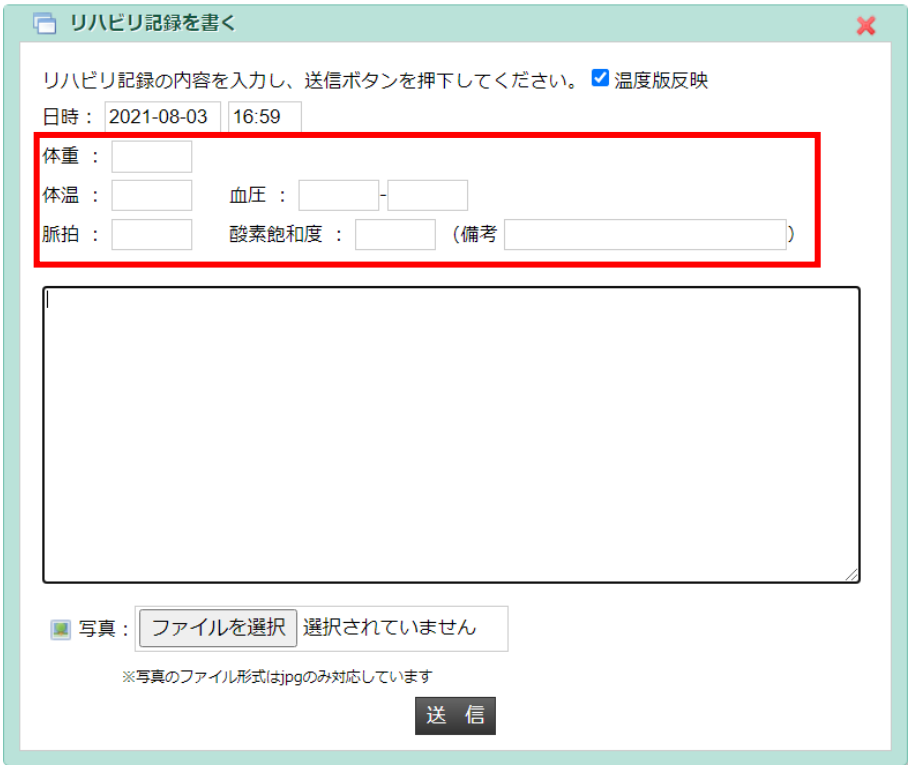
6.準備カルテで処方日数を指定できるようにしました。

「在宅予定」＞「一覧表示」から準備カルテ一括作成をする際、処方日数を指定できるようになりました。※服用回数は変更できません。

7.全銀協フォーマット出力の画面で件数と合計金額の表示を追加しました。

「収納管理」＞「出力」＞「全銀協フォーマット」の出力画面に件数と合計金額が表示されるようになりました。
※表示されている件数・合計金額は出力対象のチェックを付けた内容には依存していません。

8.リハビリ記録の測定値入力を看護記録のように入力できるようにしました。



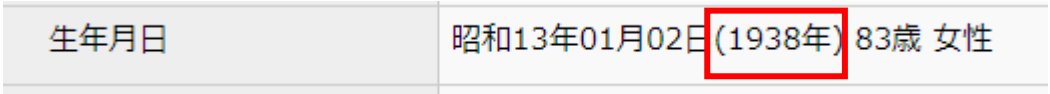
カルテ入力画面で、リハビリ記録に入力した測定値を読み込むことも可能です。

9.在宅と外来のモードを切り替えて使用しても居宅療養指導内容と ご家族連絡事項が共有されるようにしました。

FD 版オプションをご利用の場合に、通常の在宅用カルテ画面と FD 版カルテ画面を切り替えて使用すると＜居宅療養指導内容＞＜ご家族連絡事項＞の内容が共有されなかったのを修正しました。

10.患者基本情報の生年月日に西暦を併記するようにしました。

（↓患者サマリ）



11.職種別文書の配列も 50 音順にしました。

12.待機患者登録の生年月日入力で昭和 1 年を大正 15 年に変更しました。

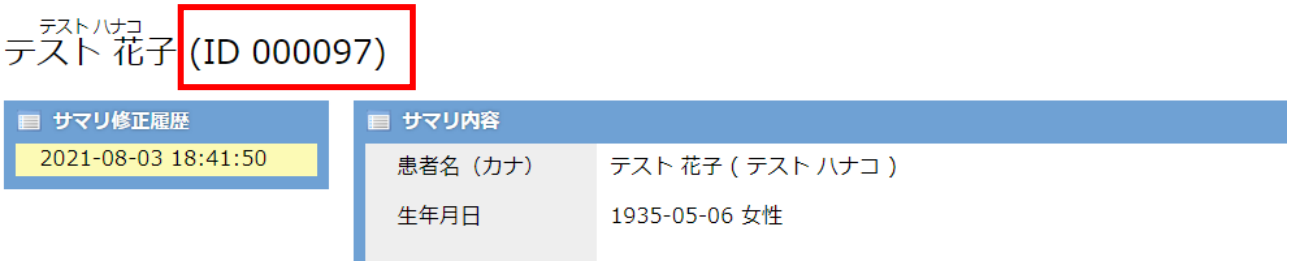
「患者情報」＞「待機患者」で患者情報を登録する際、生年月日が「昭和１年」だった場合の表示を「大正１５年」と表示するようにしました。

13.患者情報の詳細検索で、入院中の期間指定をCSV出力にも反映しました。

14.「6-2.院外処方用法編集」を利用したときの操作履歴の内容を修正しました。

15.FD 版のオーダリングで 50 個目以降の項目が登録できない事象を修正しました。

16.サマリの編集履歴画面の左上に患者 ID が表示されるようになりました。

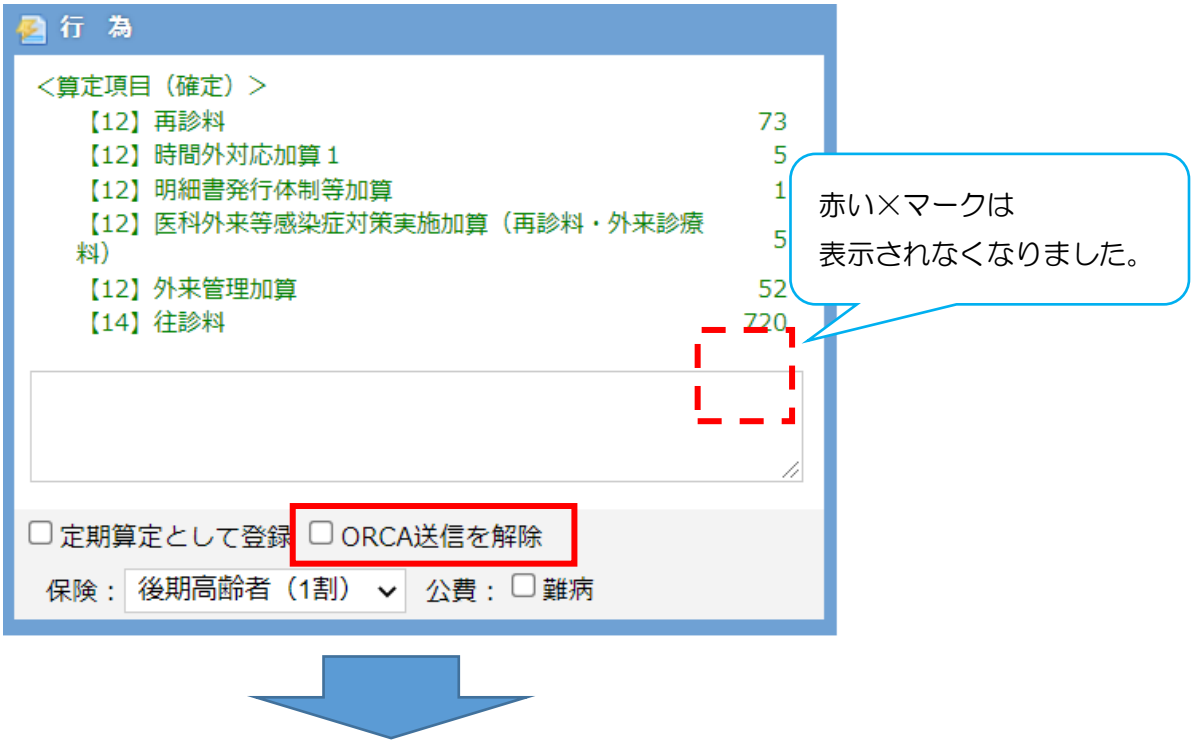


日レセクラウド連携

1.モバカル ORCA で会計済カルテを修正する手順を改善しました。

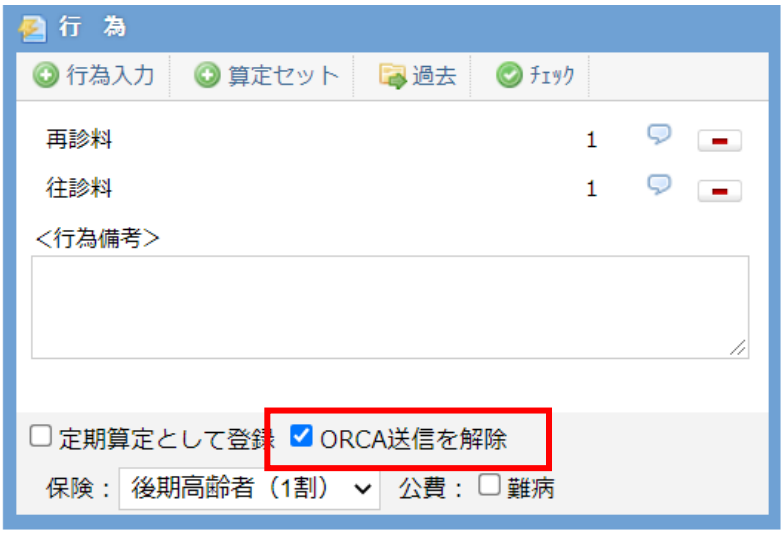
会計済カルテの修正手順が下記のように変更になりました。

ORCA で該当カルテをクリア後、モバカルのカルテに編集で入り「ORCA 送信を解除」にチェックを入れてください。



チェックを入れると、算定が修正できる状態に変わります。

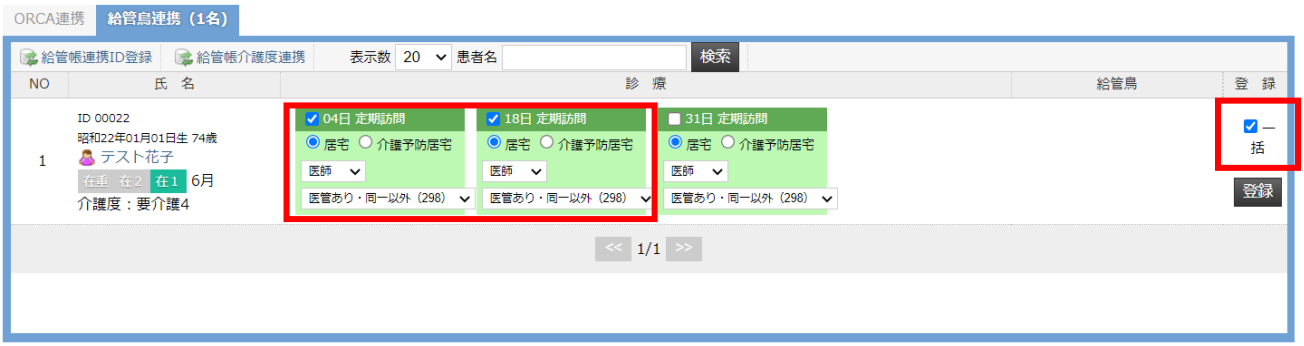
※修正・カルテ保存は「ORCA 送信を解除」にチェックを付けたまま行ってください。



2.給管鳥連携の一括にチェックしたときにチェックの入る定期訪問を最初の

２つだけに修正しました。

「レセプト」＞「施設別一覧」＞「給管鳥連携」の一括にチェックを付けた際の動きが変更になりました。最初の定期訪問２回分にチェックが付きます。



3.給管鳥連携の 50 番目以降のカルテで給管帳クラウドの実績が正しく

グレー表示されない事象を修正しました。

モバカルコミュニティ

1.複数のキーワードで検索できるようにし、検索結果画面でキーワードを

ハイライト表示するようにました。

2.ログイン後のユーザ名表示の不具合を修正しました。

3.添付ファイルのサイズを約 10MB までに増やしました。

モバカルコミュニティにアップできるファイルのサイズが 10MB になりました。